



平成 23 年 11 月 17 日

シンポジウム

『水稲農耕のはじまりを考える～岡山平野の水田研究～』の開催

<概要>

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターでは、下記のとおり、シンポジウムを開催いたします。今回のシンポジウムは、本年7月に開催した展示会「農耕のはじまりを考える—考古学と自然科学の融合、津島岡大遺跡での実践—」と対をなす企画であり、これまでの岡山平野における弥生水田の発掘調査や自然科学的分析成果をあらためて検討・総合化し、これからの調査・研究にむけての新たな視点や方法について考えてみるものです。

下記の要領でシンポジウムを開催します。詳細は別紙をご参照ください。

・シンポジウム

『水稲農耕のはじまりを考える～岡山平野の水田研究～』（入場無料・申込不要）

- ・主 催 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
- ・開催日時 2011（平成23）年12月11日（日） 13:00～16:40
- ・会 場 岡山大学創立五十周年記念館 2階 会議室

・題目／発表者

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 「弥生農村の世界—津島遺跡」 | 金田善敬（岡山県古代吉備文化財センター） |
| 「最古の水田？—津島江道遺跡」 | 扇崎 由（岡山市教育委員会） |
| 「移りゆく景観と謎の黒色土—津島岡大遺跡」 | 光本 順（岡山大学埋蔵文化財調査研究センター） |
| 「水田研究最先端—百間川遺跡群」 | 亀山行雄（岡山県古代吉備文化財センター） |

- ・パネルディスカッション 司会 山本悦世（岡山大学埋蔵文化財調査研究センター）

<お問い合わせ> 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
(本件担当) 野崎貴博 (電話・FAX) 086-251-7290